

<試験の区分(化学)>

門司税関 業務部統括分析官 令和2年度採用



【1日の仕事の流れ】

8:30 出勤

メールの確認。その日の業務について上司と話し合います。必要であれば機器の立ち上げ等の準備を行います。

9:00 分析業務

現場から依頼のあった貨物を分析します。食品の分析が多いですが、不正薬物などの鑑定業務は、急を要するため優先的に処理します。貨物によっては午前中、測定試料の調製だけで終わる場合もあります。

12:15 昼休み

自席で食べることが多いです。ゆっくり過ごして、休息をとります。

13:00 分析業務

引き続き、分析業務を行います。余裕があれば、片付けや、報告書の作成の準備をします。

15:30 報告書作成、片付け

分析が終わったら、データ整理等を行い、分析結果を報告書にまとめます。上司の確認後、分析を依頼した部門へ結果の報告を行います。その後、使用した器具の洗浄や片付けを行います。

17:00 退庁

急ぎの案件がないときは定時で帰ります。基本的に、自分の時間を確保しやすく、プライベートの予定も立てやすい職場だと思います。

① 現在はどうのような仕事をされていますか？

門司税関分析部門の業務は、大きく分けて2つあります。

1つ目は不正薬物等の鑑定業務です。海外から持ち込まれたものが、法律で規制されている不正薬物かどうかを分析により鑑定します。

2つ目は輸入貨物の関税率を決定するための分析業務です。輸入申告される貨物の中には、同じ貨物でも、成分やその濃度で関税率が異なるものがあります。正しい関税率を決定するために、化学的に分析を行います。

② 大学で専攻したことがどのように生かされていますか？

大学時代で学んだ化学に関する基礎的な知識が、よく使用する試薬や実験器具、分析機器の扱い方に生かされていると感じます。

また、関税率を決定するための分類の検討にも化学の知識が生かされています。

③ どのような仕事が印象に残っていますか？

大麻と疑われる貨物の鑑定業務が印象に残っています。大麻は、規制する法律や分析法が複雑であり、うまくいかないこともあります。上司と相談し合い、やり遂げた時には達成感と同時に、税関職員として社会に貢献することができたと強く感じます。

④ 国家公務員志望者へのメッセージをお願いします！

税関職員は幅広い業種があり、自分の知識を生かして、日本の安全・安心な社会の実現に貢献できる職場です。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしております！